

## 県・市一体型図書館についてのご意見

(平成22年10月23日現在)

### 1 回答方法

意見数 174件

(件)

	県立図書館	市民図書館	生涯学習課	計
受付	20			20
アンケートボックス	15	54		69
手紙			26	26
電話	1		7	8
FAX			2	2
E-mail		2	35	37
新聞			12	12
計	36	56	82	174

### 2 建設場所について

(件)

	県立図書館	市民図書館	生涯学習課	計
賛成	3	3	6	12
反対	8	13	12	33
不明	25	40	59	124
計	36	56	77	169

### 3 合築について

(件)

	県立図書館	市民図書館	生涯学習課	計
賛成	2	10	14	26
反対	13	21	21	55
不明	21	25	42	88
計	36	56	77	169

### 4 意見の内容

#### (1) 検討プロセスについて

##### ○検討・議論のあり方について

- ・図書館は知の宝庫であり、人間の知る権利、表現の自由の権利を守る役割に貢献しているのだから、時間をかけて十分に検討して欲しい。あまりに拙速である。
- ・合築案は議論がない。
- ・今までに議論する時間が十分にあったはずなのに、
- ・急ぎ過ぎではないか。実際に可能であるのか心配。
- ・図書館問題におけるシンポジウムもしくはディベート  
(県民の身近な施設なのだから、徹底的に論議すべき)

##### ○県民等の意見反映について

- ・県民に意見を聞く姿勢が
- ・早急でなく、幅広い意見を聞いて熟慮すべき。
- ・県民不在で方向性を決めたことが腹立たしい。
- ・もっと県民市民と共に協議する場を設けるべき。民意を無視しないでほしい。
- ・意見を聴いたところで、変更する気はあるのか。
- ・図書館利用者アンケート等を実施すべき。
- ・現状では判断の基準がわかりづらく、お役所任せになってしまう。
- ・何がどのように利便性がよくなるのか分からない。もっと意見が言いやすい方法を。

- ・高知県・高知市共に県民・市民に対する情報提供及び説明が不足している。
- ・報告書が具体性を欠き、専門用語もわかりにくいので、意見を言いたくても言うことができない。
- ・行政側の自分本位で決定され、県民・市民という相手本位の姿勢が見えない。
- ・現場の職員の声もよく聴くべき。

○その他

- ・頭のいい人たちが計画したのだから、それに従えばいい。
- ・構想が既にできあがっているのに、今更意見を募集しても遅い。県民の意見を聴くなら白紙の状態に戻すべき。

(2) 合築について

(賛成意見)

○機能、蔵書について

- ・県立と市立、同じ様な図書館を2つ作るのではなく、県内の人ならだれでも使える設備の整った図書館が、1つあればよい。
- ・県立図書館・市民図書館の両本が同じシステムで利用できれば便利だと思う。
- ・高知の図書館は本が古くて少ないと思っていたので、蔵書を増やしてより良い図書館を作ってほしい。
- ・子供図書館、科学図書館が併設されたら、家族で利用できる。
- ・県立図書館、市民図書館の良さを残した建築を希望する。

○その他

- ・近距離で同じような施設を運営していることの方が奇異である。
- ・県立、市民の行き来が非常に面倒である。

(反対意見)

○役割について

- ・県立と市立では担う役割が違う。異なる施設が一体化して失敗した例もあるので不安である。  
(それぞれの役割・良さが相殺されてしまわないか)
- ・財政事情で、機能の違う図書館をよく考えもせずに1つにするのはおかしい。
- ・県と市は全く特色が違い、使い分けているのに、1つの場所に詰め込まれたら困る。
- ・県立、市民、それぞれの図書館の役割を別々の場所で果たしてほしい。
- ・県立の展示やカウンターの良い面は単独館でこそ、市立のカラーも単独館でこそ継続され生かされると思う。
- ・県立図書館と県下の図書館と連携が今後どうなっていくのか心配。

○雰囲気、質

- ・窓口の質、レベルがちがうので、県の窓口がなくなると困る。
- ・県立図書館と市民図書館のそれぞれの持つ雰囲気が壊れる。

○サービス低下

- ・予約の順番がさらに遅くなる。
- ・一箇所で借りられるというメリットは周辺住民だけである。
- ・市民図書館の本が県下に流出することが良いとはいえない。
- ・不便になるなら、やめて欲しい。
- ・施設が一つになることで利用者が集中し、かえって不便になるのではないか。
- ・別々に建設する方が便利。
- ・県のレファレンス機能・豊富な蔵書が損なわれるおそれがある。
- ・施設整備による閉館等で市民へのサービスストップの影響が大きい。
- ・図書館としての窓口が一つになることは逆に不便になるのではないか  
(人員削減ではないか。サービスの低下につながるのか)

○運営経費等

- ・結局予算の削減につながっていくはず。
- ・システムや運用が複雑になり、結局経費がかかる。

○心配・不満

- ・今の計画では、20～30年で書庫がパンクする。
- ・面積の面で狭すぎる。
- ・高知市住民としては合築のメリットを感じない。
- ・合築よりも県民の経済・生活を立て直すことが優先ではないのか。

○その他

- ・新たに整備するのなら、今後の運営で地方財政に負担がかからないようにすべき。本当に必要なサービスに焦点を絞った改革を。
- ・図書館もコンビニみたいにたくさんないと使いにくいので2つの間を1つに減らさなくても。
- ・県立は単独がいい。
- ・数多くの反対意見があるのになぜ追手前小跡地に合築するのか。
- ・機能が全く異なるのに合築するなら、他の施設（保健所等）も合築すべき。
- ・県市両図書館とも各館が提案・推薦する専門家の参加を得て進めるべき。

(3) 駐車場について

○駐車場の必要性について

- ・有料駐車場に車を置き、図書館まで歩くのは、高齢者等には不便。
- ・たくさん本を借りれば、持ち運びが楽でなく、周辺の駐車場で間に合うものではない。
- ・周辺駐車場利用では、空き駐車場を探して何巡もすることになる。
- ・遠方から訪れる方、障害のある方たちが気軽に駐車できるように広い駐車場を設けるべき。
- ・駐車場の確保・完備を希望する。
- ・車社会である高知県には、駐車場が必要。

○駐車料金の無料化について

- ・図書館の駐車場が有料とは。
- ・無料化は必須である。

○その他

- ・観光客が使って利用者が使えなくなるのではないかと。図書館でいちいちパーキングの印を押してもらうのは嫌だ。
- ・追手前小学校敷地では狭過ぎる（ダイエー跡地等の利用を検討すべき）
- ・立体駐車場よりも平置き駐車場の方が渋滞緩和となり便利である。

(4) 建築場所について

(賛成意見)

○市街地活性化

- ・中心市街地のにぎわいという観点からも適地である。
- ・帯屋町を含む中心市街地活性化に寄与することを期待している。
- ・追手前小学校敷地近隣の駐車場の無料利用を行えば、買い物等への波及効果が期待できる。
- ・商店街との協調性を保った図書館運営を望みます。
- ・帯屋町での買い物の際に気軽に立ち寄ることができる。

○その他

- ・図書館の移転に賛成

## (反対意見)

### ○敷地の規模

- ・追手前小敷地は、県も市も押し込むとなったら狭すぎて不可能だろう。
- ・市街地にこだわる必要はない。(交通渋滞やイベント等で利用しにくくなる場合も考えられる) 郊外の十分なスペースのある場所に建てるべき。

### ○災害時安全か

- ・災害時に重要な本や資料が守ることが可能な立地条件であるか。

### ○中心地(高知市)を優遇しすぎ

- ・居住地域がどこかにより、読書環境の格差を生むことになる。
- ・高知市の中心地(帯屋町周辺)を優遇しすぎではないか。

### ○周辺環境について

- ・従来図書館とは、緑の中であって読書に疲れたらみどりのある風景を見て安らぎ、更なる知的文化の発展に資するものとする。
- ・日曜市との調整をどう考えるのか。
- ・よさこいの期間等、騒がしいし、振動も凄いため、利用者への影響が大きい。
- ・自動車の出入りが不便な場所である。

### ○別の場所へ

- ・県立図書館はJR駅周辺での単独整備を願う。
- ・建設場所として、高知駅前や敷島紡績跡を検討してみてはどうか。

### ○現在の場所がよい

- ・今の場所で、耐震補強を。
- ・現在の場所で慣れている。
- ・中心市街地活性化に寄与するか疑問である。
- ・高齢者にとってはアクセスに時間もお金もかかる場所である。
- ・文化施設に安上がりな方法を導入すべきではない。
- ・図書館以外の施設として利用すべきである。
- ・観光客に占領されてしまうのではないか。
- ・追手前小学校敷地は県の中心街に隣接する一等地。商業スペースとして有効活用すべき。

## (5) その他〔要望など〕

### ○サービスについて

- ・遠方に住む者にとって、市町村立図書館でまかなえない部分(郵送でのコピーサービスなど)をカバーしてくれる県立図書館を頼りにしているので、県立図書館がなくなるのは困る。
- ・合築によるサービス低下があるのではないかと懸念する。
- ・建物よりもサービスが大切。特に、職員の充実(親切で知識があること)。
- ・本の夜間返却等サービス、読み聞かせのスペース、おむつ交換・授乳スペースの確保。
- ・図書館でのイベントの充実(本の歴史展等)
- ・分館・分室から県立の本を借りれるようにして欲しい。

### ○設備、施設、蔵書等について

- ・書籍の多様化・増冊を要望する。
- ・子連れで利用しやすいような施設整備(授乳室等)をして欲しい。
- ・勉強スペースの確保を希望する。
- ・食堂等を設置して欲しい。
- ・子どもが来やすい児童館のような施設の併設を希望する。

- ・高齢者や子どもが利用しやすい図書館にして欲しい。
- ・利便性の向上（おすすめの本の紹介等）、施設の拡充（絵画や掛時計等、カフェ、AED、防犯カメラ、視聴覚室、ホール等々の設置・充実）
- ・身体障がい者の利用しやすいバリアフリーな設計として欲しい。
- ・点字図書館の発展（レミエールサロン設置や音訳者派遣事業、視覚障害者生活訓練士等リハビリ機能の充実など、総合的に情報支援とリハビリ機能を兼ねた備えた施設の兵移設等）
- ・おもちゃ図書館を置けないか。
- ・市外の利用者専用の席など、遠慮せず利用できる席の工夫。
- ・図書館は既存のまま、博物館や水族館を希望。
- ・合築する場合の建築方式として、①議事堂方式②シフト型等の私案の提示
- ・新しい図書館は、いかにも公立というものではなく、近代的・開放的な施設にして欲しい。

#### ○人員について

- ・合築した場合の館長は一人でよい。
- ・障害者を司書補助員として採用する枠を設けてはどうか。
- ・全国から優秀な司書を採用する。

#### ○その他

- ・図書費の増額を希望する。
- ・新図書館は城の近くである必要もなく、周辺部でもよい。
- ・駐車場の件も含め、郡部に住む者にとっても使いやすく、県民の財産として誇りを持てるような図書館であってほしい。

